図書館だめ

北海学園大学附属図書館報 第31巻1号(通巻189号) 2009.4.2

NO.

vol.31

Bulletin of the Hokkai-Gakuen University Library

池内靜司

2 T.S.エリオットと「バーント・ノートン」

神山義治 下村直樹 山本裕子 木寺 元 私が薦めるごの1冊

展示会案内

第50回図書展示会 十二人の写真家展

図書&視聴覚資料

貸出ランギング

- 8 初めての人のための図書館利用ガイド
- 10 データベース紹介
- アルバイトーク 編集後記

T.S.エリオットと「バーント・ノートン」

文=池内靜司

(いけうち せいじ/人文学部教授)

ロンドンから西へ150キロほど、イーブシャム渓谷を見渡すグロースターシャーの丘陵に、バーント・ノートンと呼ばれる古い荘園屋敷がある。気がふれた主人の放火によって火災に見舞われたことがあり、いつしかこのように呼ばれるようになったのだが、その後、他の貴族たちの手を転々とするうちに残った部分に大幅な増築がされて、現在の建物になったと言われている。1934年7月、T.S.エリオット(1888-1965)は近くのチッピング・カムデンに滞在した折、ハーバード時代の友人エミリイ・ヘイルと連れ立ってここを訪れたが、よほどこの屋敷のことが気なったらしく、同年から翌年にかけてチッピング・カムデンを訪れた時に、さらに数回にわたってこの屋敷に足を伸ばしている。

この屋敷の正面右手には裏手に向かう通路があり、そこを通って木戸を開けるとバラ園に出る。彼が訪れた当時、主人の住まぬこの屋敷の庭は荒れ、現在と同様にコンクリートの溜池は涸れていたと思われる。そして、おそらくツグミが柘植の木の生垣に隠れつつさえずり交わしていたはずだ。この屋敷を訪れた経験は、エリオットの代表作のひとつである『四つの四重奏曲』の最初の四重奏曲「バーント・ノートン」(1935年)に描かれている。

溜池は枯れている、燥いたコンクリート、褐色のヘリ/ 溜池を満たしているのは日光の水/睡蓮がしずかに、 しずかに立ち上がった/池の面は光の芯となって光っていた。/……/一塊の雲が通過する、と池は空に なるのであった。/あっちへ行けと小鳥が言う……/ 行け、行け、行け、と小鳥が言う。人間には/あまりに も生々しい現実は耐えられないから。

(第Ⅰ部、34~43行目。二宮尊道訳を参考にした。)

1935年のカンタベリー祭で上演するための劇を依頼され、エリオットは詩劇『寺院の殺人』を書いたが、「バーント・ノートン」という作品は、『寺院の殺人』では最終的に用いられなかったものの、当時の彼の詩想との関連から捨てがたい詩行を利用して書き上げられたものである。当然、この二つの作品には低通する要素があるわけで、引用部分の最終行「人間にはあまりに生々しい現実は耐えられない」は、『寺院の殺人』でも大司教トマス・ベケットのセリフとして語られている。しかし、劇の要件に縛られる必要のない「バーント・ノートン」には、詩的瞑想、あるいは、哲学的な思索のイメージ化という面がより強く見られる。

かつてエリオットは、英国17世紀の形而上派の詩人たちの感受性を取り上げて、「思想をバラの匂いのように直接的に感じ取る」として極めて高い評価を与えたが、彼にとってすぐれた芸術とは、そういった感受性がさらに「没個性」というもう一つの側面を備えるときに生まれるものであった。引用した詩行は、省略部分も含めて全体の中に戻して読み込む必要があるが、ノートン屋敷での現実の経験と彼の思索が詩的想像力による変容をうけて見事に作品のなかに定着した一例である。この時期、彼は自身が求める詩の理念のごく近いところにまでたどり着いていた、と言ってよいのではないかと思われる。

T.S.エリオット:アメリカ生まれの英国の詩人・ 批評家。1948年、ノーベル文学賞受賞。



ジョン・メイナード・ケインズ

『説得論集』(ケインズ全集第9巻、宮崎義一訳、東洋経済新報社、1981年)

☆=神 山 義 治

(かみやま よしはる/経済学部教授)

本書は、人々を「説得」するべくケインズが限られた時間に情熱を注いで書いた小論からなる。時事的な素材を扱いながら、社会理論の古典の魅力ともいうべきものをたたえている。例えば、「自由放任の終焉」論は、19世紀的な資本蓄積の終焉のなかに人類史的な転換を見据え、「自由」の社会哲学的考察として光彩を放つ。「経済問題」の終焉論は、技術の発展が大量失業をもたらす現代社会の苦悩のなかに、「財産としての貨幣愛」からの離脱の可能性を、「富の蓄積がもはや高い社会的重要性をもたないようになる」可能性を、「欠乏と貧困および階級間・国家間の経済闘争の問題」からの人類の解放の可能性を見いだすスケールの大きな議論である。彼の思索は、完全雇用と福祉国家を目指してマクロ的調整を試みる混合経済の公認の知という枠には収まらない。

本書は、世界恐慌の嵐の吹き荒れる1931年にその 初版が出版された。現在の、米国住宅バブル破綻に 始った地球規模での不況は、信用の泡を破裂させ、企業を倒産させ、街に失業者を押し流している。私たちは、現在のシステムが貨幣の増殖のための増殖に 依存していることにあらためて気づかされる。ケインズが大恐慌のなかで説いたのは、しかし、この「貨幣愛」のシステムに悲観し絶望することではなかった。彼の現実的で穏健でなおかつ根底的な知的営為 は私たちを「悲観主義」から救い出す現実的行動でもあった。



高田高史

『図書館が教えてくれた発想法』(柏書房、2007年)

文=下村直樹

(しもむら なおき/経営学部准教授)

図書館からこのコーナーへの依頼が来たとき、手持ちの本の中から真っ先に頭に浮かんだのが『図書館が教えてくれた発想法』です。

図書館の中での自分の行動を考えてみると、大抵の場合は図書館の中であらかじめ決まったところしか使っていません。普通、読みたい本があるとき(はっきりとそれがどこにあるかわかっているとき)、その本が置いてあるコーナーにしか行きませんよね。ですが、

①目的の本(前もってタイトル、あるいは、著者の名前がわかっている)がどこにあるのかわからないとき、 どうやって探せば良いのでしょうか?

また、

- ②探したいテーマの本はあっても、その曖昧な状態からどうすれば自分が読みたい本を見つけられるのでしょうか?
- ①の場合はインターネットの蔵書検索を使えばよいと

思うでしょうが、それでは、②の場合は簡単にインターネットで探せますか? でも、もし探せなかったら、(図書館の人に聞いてみないで)図書館を隅から隅まで歩き回ってみる必要があるのでしょうか…

この本はそうした本の探し方を教えてくれます。しかも、堅苦しい感じは一切なく、読みやすい小説形式でわかるようになっています。

そして、この本を読み進めていくと、次のことがわかります。すなわち、実は図書館の使い方を通して「世の中に氾濫している情報の中から、自分の求めている情報をどうやって見つければよいのか?」っていうのがこの本のテーマだということです。図書館における本の探し方をベースとして、そこだけにはとどまらない情報の探し方、つまり、現在におけるインターネットを使った情報収集の方法について、この本は教えてくれるのです。



遠藤周作

『沈 黙』(新潮社、1981年)

☆=山本裕子

(やまもと ゆうこ/工学部准教授)

私が初めてこの本を読んだのは大学4年の冬だった。 卒業研究終盤の1月初旬に無謀にも長崎を旅すること になり、せつかくだから旅行中に長崎を舞台にした小説 でも、と選んだのが長崎でのキリシタン弾圧を題材と したこの本だった。当初の予定では長崎で友人と落ち 合い、本など読む間もないような楽しい旅をするはず だったが、運悪く彼女がインフルエンザにかかり、私は 一人寂しく三日間長崎観光をすることになった。昼は原 爆の傷跡が未だに残る冬の長崎を歩きまわったが、夜 は一人の時間を持て余し、この本を読むことになった。

「沈黙」はキリシタン禁制となった日本にやってきたポルトガル司祭の目を通して描かれており、多くの信徒が拷問を受け苦しみながら殉教していくのに、なぜ神は救いの手を差し伸べず沈黙を続けるのか、という信仰そのものに関わる重いテーマを扱っている。一方で、司

祭である主人公の迷いや苦悩は人間臭く、キリスト教徒ではない私にも身近なものとして感じられ、主人公にどのような結末が待ち受けているのか知りたくて読み進めた記憶がある。

しばらくこの本のことを忘れかけていたが、4年ほど前から2年間九州に住んだ際に再び読み返した。島原半島の雲仙地獄には、隠れキリシタンや宣教師が拷問を受けた場所を示す看板が立つている。硫黄臭とともに熱い蒸気をあげる地獄を見ながらかつて行われた拷問を思うと、人間の残酷さに背筋が寒くなる。

現在も地球のどこかで信仰のために命を捨てること、 また命を奪うことが行われている。信仰とはいったい何 なのだろうか。宗教に無頓着な私にもそんなことを考 えるきっかけを与えてくれた本である。

私が薦める この1冊 パオロ・マッツァリーノ 『**反社会学講座』**(筑摩書房、2007年)

☆=木 寺 元

(きでら はじめ/法学部講師)

20代を卒業したばかりのぼくにとって最近の本屋は苦痛です。

なぜなら本屋に行ったところで、いかにいまの若者がダメなのかをあげつらったものか、あるいは、いかにいまの社会が若者にとって「生きづらい」のかを嘆くものばかりが平積みされているからです。まったく暗い。若者が明るい未来を創るためのヒントをまともに示しているような本などほとんど見当たりません。それでも「最近の若者たち」は「本を読まない」と罵倒されるんです。たまったものではないですね。

じゃあ、ということで薦めるのがパオロ・マッツァリーノ『反社会学講座』(ちくま文庫版)です。

いままで学校で覚えさせられてきたことや、親やテレビがもっともらしく言っていることがウソやデタラメ であることが分かったら面白くないですか。学問の面 白さって、そういうことだとぼくは思うんです。そもそも、世間で広まっているもっともらしい説明(「言説」と言っておきますが)がいかにマユツバモノか。疑ってかからないことには、ずっと言説を操作する人たちに騙されっぱなしです。(ぼくの専門の政治学にも「言説政治学」という、いかにエライ人たちが言説を操作して自分たちに都合のいい政治をしようとしているか、明らかにするというものがあります。)

この本はそういう言説を真に受けて押しつぶされそうになっている今の若者に読んでほしい。疑うということから始める。その結果、言説に隠された真実を見つけることができれば、世の中を希望ある方向に変える手がかりとなるはずです。この本がそうしたキッカケになれば、紹介者として幸せです。

第50回 図書展示会

<u>+</u>

人の写真家展

50回の節目を迎える今回の図書展示会では、 古今東西から十二人の写真家たちの作品を集めました。

「写真を撮ると魂が抜かれる」と信じられていた時代にカメラに向かって微笑みかける女性、息を呑むほど美しい黄金色の浜辺にたたずむ一羽のサギ、誰もが知る世界的ロックスターのやんちゃなオフショット――

彼らの撮る写真には、きっと新しい発見があるはずです。

期 間: 2009年4月1日~2009年9月30日

場 所: 図書館1階自由閲覧室

一ノ瀬 泰造 [いちのせたいぞう]

報道写真家。フリーカメラマンとしてベトナム戦争を取材し、その写真は国内外の新聞・雑誌に発表された。1973年11月22日、カンボジアのアンコールワットに向かったまま消息を絶つ。行方不明時26歳。佐賀県出身。

〈展示資料〉

『一ノ瀬泰造戦場より愛をこめて! 1972-73』(窓社/2004)、『一ノ瀬泰造ぼくが愛した人と村』(窓社/2004)

今森 光彦 [いまもりみつひこ]

大学卒業後、昆虫写真専門の写真家を志し、独学で写真技術を学ぶ。以後、琵琶湖を取り巻く全ての自然と人との関わりをテーマに撮影。一方、熱帯雨林から砂漠まで、広く世界の辺境地の訪問を重ね、取材を続けている。滋賀県出身。

〈展示資料〉

『里山物語』(新潮社/1995)、 『昆虫4億年の旅』(新潮社/2008)

岩合 光昭 [いわごうみつあき]

父徳光の助手としてガラバゴス諸島を訪れたこと を契機に写真家の道を歩み始める。以後、地球上 のあらゆる地域をフィールドに、大自然に生きる 野生動物の一瞬の輝きを撮り続けている。東京 都出身。

〈展示資料〉

『サバンナからの手紙』(朝日新聞社/1985)、『地球動物記』(福音館書店/2007)、『バンダ』(新潮社/2007)

上野 彦馬 [ウネのひこま] 1838-1904

幕末~明治時代の写真家。下岡蓮杖(れんじょう) と並ぶ日本写真界の先駆者。1862年、長崎に わが国初の写真館を開業。坂本龍馬、高杉晋作 や金星観測、西南戦争などの写真を残した。肥 前長崎出身。

〈展示資料〉

『上野彦馬と幕末の写真家たち:日本の写真家 1』 (岩波書店/1997)

梅 佳代 [うめかよ]

人物の自然な表情を引き出す写真が人気を集め、 俳優・役所広司やミュージシャン・岸田繁(くるり) などの撮影を手がけている。2006年に出版した「うめめ」が刊行直後から評判となり、発売から 5か月で5万部を売り上げるなど新人写真家の作 品集としては異例のヒットとなる。石川県出身。 〈展示資料〉

「うめめ:today's happening』(リトルモア/2006)、 「うめ版:新明解国語辞典×梅佳代」(三省堂/2007)

蜷川 実花 [にながわみか]

カラフルな被写体をより鮮やかに写す独特なスタイル「ニナガワカラー」が、若者を中心に高い支持を得ている。2006年、花魁(おいらん)たちの人生を描いた安野モヨコの漫画を原作とした映画『さくらん』(07年公開)の監督を務めた。東京都出身。

〈展示資料〉

『永遠の花=Everlasting flowers』 (小学館/2006)

星野 道夫 [ほしのみちお]

アラスカ大学野生動物管理学部に留学し、現地の動物、自然、そこに生活する人々を撮影する。 1996年8月8日、取材で訪れたロシアのカムチャツカ半島クリル湖畔でヒグマに襲われ死去。千葉県出身。

〈展示資料〉

『星の物語: Alaskan dream 1』(阪急コミュニケーションズ/2008)、『愛の物語: Alaskan dream 3』(阪急コミュニケーションズ/2008)

三好和義 [みよしかずよし]

13歳の時に沖縄を訪ねて以来、タヒチ、モルディブ、サハラなど世界各地で「楽園」をテーマに撮影。 1999年から2004年までに、(独)国際交流基金が作品『日本の世界遺産』17セットを順次買い上げ、世界各国の「日本文化センター」などで随時写真展が企画開催されている。

〈展示資料〉

『三好和義楽園全集』(小学館/2005)、『ハワイアン・スピリッツ:楽園の秘密』(小学館/2007)

ヤン・アルテュス=ベルトラン [Yann Arthus-Bertrand] 1946-

フランスの航空写真家。ユネスコの後援を受け 1996年からスタートした「空から見た地球」プロジェクトは、10年もの歳月をかけて地球を撮り続けてきた代表作で、日本を含む世界各地で展覧会が開催された。

〈展示資料〉

『空から見た地球:21世紀への遺産』(ニュートンプレス/2000)、『366日空の旅:かけがえのない地球』(ピエ・ブックス/2004)

ロバート・キャパ [Robert Capa] 1913-1954

ハンガリー出身の報道写真家。1936年のスペイン内戦時に撮影した「崩れ落ちる兵士」で世界の注目を集める。47年には、アンリ・カルティエ=ブレッソンやデビッド・シーモアらとともに共同写真エージェンシー「マグナム」を設立するが、54年メコン・デルタで取材中に地雷に触れて爆死した。〈展示資料〉

『ロバート・キャパ:決定版』(ファイドン/2004)、 『Magnum Magnum』(青幻舎/2007)

サム・レヴァン [Sam Levin] 1902-1992

ロシア出身の肖像写真家。1936年にジャン・ル ノワールと知り合い、同監督の『大いなる幻影』 (1937)のスチールマンとなる。その後、映画 雑誌や女性誌に依頼されてスターの写真を撮り、 「スターの肖像写真家」としての名声が高まる。

〈展示資料〉 『フター映画の当

『スター映画の肖像』 (平凡社/1992)

ベンツ・レイ [Bent Rej] 1940-

デンマーク出身の写真家。1960年からデンマークの大手新聞社でカメラマンとして働く。64年の終わり頃からは、ポップスターたちを撮り始め、ローリング・ストーンズとも親交を深める。最近では、カールスバーグ社の「たぶん世界ーのラガービールさ」のキャンベーン用写真などが有名。〈展示資料〉

『The Rolling Stones in the beginning』 (小学館/2006)

書&視聴

貸出ランキン

図書館の今が分かる! 出ました! 貸出のランキングです。 授業に役立つ図書や、見逃せないあの視聴覚資料もありますよ! 読んで見て損は無い、注目のランキングです! 熱いぜ、図書館!!



2009 ンキング

~8位

※文字情報:上から 書名、出版社、著者、請求記号、所蔵ID



刑法総論

MIRALE

A





PHILIP OF THE

第3版 東京大学出版会 内田貴著 324/UCH/3 0542428 他4冊





「ならば」を めぐって 法学書院 鈴木美佐子著 116/SUZ/1 0566046 他3冊





ゴールデン スランバー 新潮社 伊坂幸太郎著 913.6/ISA 0566046 他1冊



貸出回数 28回



ダイイング・アイ 光文社 東野圭吾著 913.6/HIG 0564056 他1冊



貸出回数 27回



債権各論 第2版 東京大学出版会 内田貴著 324/UCH/2 0555381 他4冊





北海早田大学協会館

構造力学 森北出版 崎元達郎著 501.34/SAK/上 0537939 他6冊

貸出回数 25回



容疑者Xの献身 文芸春秋 東野圭吾著 913.6/HIG 0540957 他1冊





第4版 東京大学出版会 前田雅英著 326.1/MAE 0557633 他2冊

刑法総論講義





刑法各論講義 第4版 東京大学出版会

前田雅英著 326.2/MAE 0555380 他1冊



貸出回数 25回 フィッシュ

ストーリー 新潮社 伊坂幸太郎著 913.6/ISA 0635804 他1冊



貸出回数 24回

ハリー・ポッターと 死の秘宝(上) 静山社 I.K.ローリング作; 松岡佑子訳 933/ROW/上 0570094 他3冊

なるほどワカッタ! 電磁気学 オーム社 大伴洋祐著 427/OTO 0632712 他2冊

本の貸出 ランキング 2009 14~23位

順位	タイトル	出版社名	編著者名	請求記号	所蔵ID	貸出回数	
14位	砂漠	実業之日本社	伊坂幸太郎著	913.6/ISA	0543561 他1冊		
	ハリー・ポッターと謎のプリンス(上)	静山社	J.K.ローリング作 ; 松岡佑子訳	933/ROW/上	0546398 他3冊	23	
	図書館内乱	メディアワークス	有川浩著;徒花スクモイラスト	913.6/ARI	0552948 他1冊		
	実務解説独禁法Q&A	青林書院	伊従寛, 矢部丈太郎編	335.57/JIT	0608615		
	夢をかなえるゾウ	飛鳥新社	水野敬也 [著]	913.6/MIZ	0564871 他1冊		
	レイクサイド	実業之日本社	東野圭吾著	913.6/HIG	0565705		
	注解経済法(上)	青林書院	今村成和 [ほか] 編	328.1/144/上	0310811	22	
20位	注解経済法(下)	青林書院	今村成和 [ほか] 編	328.1/144/下	0310812		
	チルドレン	講談社	伊坂幸太郎著	913.6/ISA	0529082 他1冊		
	ケースブックEC法:欧州連合の法知識	東京大学出版会	山根裕子編著	333.7/Y36	0017212 他1冊		
	金融システムと信用恐慌: 信用秩序の維持とセーフティ・ネット	日本経済評論社	小林真之著	338/KOB	0260220 他6冊		
	赤い指	講談社	東野圭吾著	913.6/HIG	0548616 他3冊		
	図書館戦争	メディアワークス	有川浩著;徒花スクモイラスト	913.6/ARI	0552679 他1冊		
23位	夜は短し歩けよ乙女	角川書店	森見登美彦著	913.6/MOR	0634341 他1冊	21	
	夜明けの街で	角川書店	東野圭吾著	913.6/HIG	0559821 他1冊		
	ハリー・ポッターと死の秘宝(下)	静山社	J.K.ローリング作 ; 松岡佑子訳	933/ROW/下	0570093 他2冊		
	私的独占禁止法の研究:その背景と動態[5]	有斐閣	今村成和著	328.1/I44/5	0008394		
	私的独占禁止法の研究:その背景と動態[6]	有斐閣	今村成和著	328.1/I44	0010662		



ランキング 2009 期間: 2008年4月1日~2009年2月28日 1~30位



クローズ:ZERO プレミアム・エディション TBS (発売)





分 貸出回数 73回

オーシャンズ13 2-disc ed ワーナー・ホーム・ビ

デオ(発売)





貸出回数 73回

パイレーツ・オブ・カリビ アン: ワールド・エンド 2-disc special ed ウォルトディズニース タジオホームエンター テイメント (発売)



順位	タイトル	貸出回数		
4位	ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 3-disc ed	72		
5位	ホリディ	70		
6位	アイ・アム・レジェンド Two-disc special ed	68		
7位	トランスフォーマー[Two-disc special ed.]	62		
8位	ダイ・ハード4.0:特別編 キサラギ			
10位	スウィーニー・トッド:フリート街の悪魔の理髪師	59		
11位	ボーン・アイデンティティー アヒルと鴨のコインロッカー			
13位	ザ・シューター: 極大射程 そのときは彼によろしく Standard edition			
15位	花田先生の経済学シリーズ: 入門基礎編 1- I デジャヴ			
17位	Slam dunk: 10 days after Hairspray	51		
19位	幸せのちから コレクターズ・エディション	50		
20位	それでもボクはやってない スタンダード・エディション	48		
21位	マリー・アントワネット	46		
22位	Taxi			
23位	ボーン・スプレマシー 位 花田先生の経済学シリーズ: 入門基礎編 1- II			
25位	アドレナリン	42		
26位	夜のピクニック	41		
27位	ボーン・アルティメイタム	37		
28位	パイレーツ・オブ・カリビアン: デッドマンズ・チェスト 2-Disc スペシャル・エディション	36		
29位	プラダを着た悪魔:特別編	33		
30位	花田先生の経済学シリーズ: 入門基礎編 2- Iナイトメアミュージアム=Nightmare museum			

使おう・借りよう・探そう

初めての 図書館利用ガイド

◯ 「利用案内」 を読もう!

「北海学園大学附属図書館 利用案内」には、図書館を使う上での基本的なポイントが説明されています。図書館内の他、学内数個所に設置してありますので、ぜひ一度ご覧ください。

→ 図書館を使おう!

本学の学生であれば、入館手続きは必要ありません。 たくさんの蔵書がある!〈約85万冊〉

- 本館(豊平校舎):社会科学(経済・経営・法律・教育など)、人文科学(歴史・哲学など)、自然科学(科学・物理など)、民俗関連図書など
- 工学部図書室(山鼻校舎): 土木工学、建築工学、 情報工学、エレクトロニクス関係資料など

レポートや論文をゆっくり書ける!

夜遅くまで利用できる!

			月~金	±
開館時間	本館	2F·3F閲覧室	9:00~22:00	9:00~22:00
		1F自由閲覧室	9:00~22:30	9:00~22:30
	工学部図書室		9:00~20:00	9:00~15:00
	本館	館内閲覧	9:00~22:00	9:00~22:00
		レファレンス・サービス	9:00~17:00	9:00~12:00
		貸出	9:00~21:45	9:00~21:45
		返却	9:00~21:45	9:00~21:45
利用時間		返却ポスト	21:45~ 9:00	21:45~ 9:00
		複写機/AV·PCブース	9:00~21:45	9:00~21:45
	工学部図書室	館内閲覧	9:00~20:00	9:00~15:00
		レファレンス・サービス	9:00~16:30	9:00~12:00
		貸出/返却	9:00~19:45	9:00~14:45
		複写機/AV·PCブース	9:00~19:45	9:00~14:45

日曜日、国民の祝日とその振替日、5月16日学園創立記念日、 入学式・卒業式、入学試験日・準備日(センター試験・一般 入試)、年末・年始

臨時休館日は掲示等でお知らせします。

→ 本を探そう!

本学図書館に所蔵している資料は、蔵書検索 (OPAC)で検索することができます。また、本学図書館に所蔵していない資料は、他の図書館・機関等から取り寄せることができます。

図書館で購入してほしい図書があったら……

「購入希望図書申込書」を記入して、購入希望図書ポストへ投函、またはサービス・カウンターに提出してください。

一本を借りよう!

- 借りたい図書と一緒に学生証をサービス・カウンタ ーに提出してください。
- 貸出は5冊、15日間までです。なお、返却期限内かつ他の利用者から予約が入っていなければ、一度だけ延長することができます。
- 返却期限は必ず守りましょう。

いろいろな情報を探そう!

AVブースを使う!

AVブースでは、DVD、CD、ビデオ等の視聴覚(AV) 資料が利用できます。視聴覚資料棚の横にある「視聴覚 資料所蔵リスト」で利用したい資料を選んでください。 なお、持ち込み資料の閲覧はできません。

PCブースを使う!

PCブースでは、インターネットとCD-ROM等の閲覧 利用ができます。

ホームページを活用する!

図書館からのお知らせ、開館時間、休館日の他、調査や研究に役立つ情報もたくさん掲載されています。

たとえば、本館HPで利用できるデータベース。日常 生活のふとした疑問からレポート作成のための学術的資料まで幅広い情報を手に入れることができます。

ぜひ一度、ご覧ください。

(図書館では、これらのデータベースの利用説明会を開催しています。)

http://library.hokkai-s-u.ac.jp/cgi-bin/tosyokan/index.cgi

図書館用語のポイント

OPAC (Online Public Access Catalog)

どんな資料が所蔵されているかをオンラインで検索 するシステムのこと。本学図書館では「蔵書検索」 とも呼んでいます。

NACSIS-Webcat

国立情報学研究所が提供している総合目録データベースのこと。全国の大学図書館が共同作成している もので、探している資料がどこの図書館に所蔵されているかを検索できます。

(http://webcat.nii.ac.jp/)

● 書誌情報

個々の資料を識別できるような、書名、著者名、出版社などの情報一つ一つ、または総称をいいます。

● 所蔵情報

OPACで探している資料が見つかった場合に表示される情報(配架場所、所蔵ID、ステータス、請求記号など)のこと。複本があると何件も表示されます。

● 配架場所

資料を置いている場所のこと。代表的なものに、本 館開架、本館閉架、工学部開架、工学部閉架など があります。

● 開架図書/閉架図書

閲覧室内にある図書を開架図書、書庫内にある図書を閉架図書といいます。閉架図書を利用したい場合は、カウンター職員に取り出しを請求します。同一図書が開架、閉架双方にある場合は、開架図書を利用してください。



●請求記号

資料が配架されている 位置を示す記号のこ と。一般的には、分類 記号と図書記号(著者 記号)の組み合わせで 表します。



● 分類番号

日本十進分類法によって分類された番号のこと。

● 著者記号

著者を表す記号のこと。著者の読み(カタカナ、ひらがな、ローマ字など)及びタイトル名から綴りの初字(1から3字)、または数字との組合せでできています。

● 所蔵ID

資料に貼付された固有のバーコード番号のこと(同一の所蔵IDは存在しません)。

● 禁帯出資料

館外への持ち出しを禁止している資料のこと(主に参考図書)。資料の背に赤い丸シールが貼っている 資料は貸出できません。

● 参考図書

主に辞書、辞(事)典、年鑑、年報、統計、白書 類などを指します。

● 製本雑誌

バラ雑誌を数号分綴じあわせて扱いやすいように一 冊にまとめたもの。本学図書館では、バラ雑誌の貸 出は行っていませんが、製本雑誌は貸出可能です。

● レファレンス

参考業務ともいいます。利用者の求めに応じて、担 当職員が調査・研究の手助けをします。

データへース紹介 ①JapanKnowledge ②日経新聞オンラインデータベース[日経テレコン21]

本学図書館のホームページでは、様々なデータベースが利用できます。日々の学習はもちろん、日常のふとした 疑問解決に役立つこと間違いなし!!このコーナーでは、図書館で利用できる様々なオンラインデータベースの中 から、人気の高いものをご紹介します。

オンラインデータベースへの接続の仕方



データベース利用上の注意

- 同時接続数に制限のあるデータベースがあります。うまく接続できなかった場合は、しばらく経ってから再度 試してみてください。
- データベースの利用を終了する際は、必ずログアウトを行ってください。ログアウトの仕方がよくわからない ときは、図書館職員にお尋ねください。

①JapanKnowledge (ジャパンナレッジ)

『日本大百科全書(ニッポニカ)』を筆頭とする出版各社 の優良事典・辞書を中心とした豊富な知識源を一括検索す ることのできるデータベースです。レポートや論文の作成 だけでなく、日常のふとした疑問の解決や旅行の下調べ、 日々の話題作り等々、様々な場面で活用できます。

[トップページ]



ログイン(法人)ボタンをクリックする。



②日経新聞オンラインデータベース[日経テレコン21]

日経四紙(『日本経済新聞』・『日経産業新聞』・『日経 流通新聞MJ』·『日経金融新聞』)、日経地方経済面、日 経プラスワン、日経速報ニュースなどの記事検索の他、 企業検索・人事検索等が行えます。

1.ピジネス・テ・ 2.業界ウォッテ

[トップページ] TELECOM 21



切り抜き記事のような感覚で、本文

データを入手できる場合も多い。

本学図書館では、日 できます。

経新聞の他、朝日新 聞、北海道新聞、読 売新聞のオンライン データベースが利用

図書館では、オンラインデータベースの使い方を説明するガイダンスや、専門講師による講習会を行っております。 詳しくは図書館ホームページ、館内掲示物等をご覧ください。

ーライバル対決、一夜明け、米面が舞り中止、イチローは淡々。 - 株工学 - 株工学 - 株工学

本との出会い

☆=菅谷知定

(すがや ひろやす) 大学院 工学研究科 建設工学専攻 修士課程

私が本をよく読むようになったのは高校生の時に出会った伊藤守さんの「今日を楽しむための100の言葉」がきっかけだった思います。この本は前向きな気持ちになれる数行の言葉が100個書かれてあり、いろいろな事に迷っていた自分に元気をくれました。その時、本の中の文字が与えてくれるモノの大きさに気付き、それ以来いろいろなジャンルの本を読むようになりました。

そして次に私にとても強い印象を与えてくれたのは 村上春樹さんの作品でした。大学生になり授業のない 時間には本を読むことが多くなりそんな中、手に取っ たのが「ねじまき鳥クロニクル」という作品だったので すが、この本を読み始めてすぐ村上春樹さんの文章が 独特な事に気が付きました、書かれている比喩表現が、 作中に起こることがあまりにも感覚的で刺激的で強く 印象が残りました。まるで音楽を聞いているような、 頭で理解しようとするのではなく体で感じてくれと文 章が言っているように私は思いました。

そしてもう一人、私が好きな作家を紹介したいと思います、それは伊坂幸太郎さんです。工学部の図書館に置かれている「フィッシュストーリー」という作品を読んでから大好きになったのですが、彼の作品は全編に

渡り多くの伏線が張り巡らされていて、それがラストでは一つに繋がり大きな驚きに変わります。何度も読み返したくなる作品ばかりです。

さて、ここまでは私が出会った本について紹介してきました、もしよかったらみなさんも読んでみてはいかがでしょうか。



編集後記

春の訪れとともにシラカバ花粉の飛散情報が気になるところですが、平年よりもかなり少なめという情報に、思わず小躍りしてしまいます。

さて、見どころ満載の今号ですが、たつぶりとお楽しみいただけましたでしょうか? 誌面上でも取り上げておりますが、昭和63年から始まった「図書展示会」が、このたび50回の節目を迎えました。これも日頃より当企画を応援してくださる皆様方のおか

げと感謝しております。

図書館1階自由閲覧室のガラスケースをのぞくと、そこには無数のホタルが飛び交う里山の風景があったり、在りし日の自分と重なり合うような少年たちがいたり、あるいは奇抜な顔とファッションで異彩を放つブライアン・ジョーンズがいたりと、たくさんの素敵な出会いが待っています。密かに増殖を続ける図書館の「写真集」から、これからも目が離せません!!

北海学園大学附属図書館報 図書館だより 第31巻1号 (通巻189号)

本館 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号 **工学部図書室** 〒064-0926 札幌市中央区南26条西11丁目1番1号 TEL (011) 841-1161 (本館内線) 2273・2274・2275 (工学部内線) 7813・7814 印刷所: (株) アイワード